

2023年(令和5年)

赤目まちづくり委員会・市民センター

8月号

赤目まちづくり通信

〈スローガン〉「みんなで考え みんなでつくる 夢はぐくむ わがまちかめ」

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター) 〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 E-mail: akame-ko@emachi-nabari.jp TEL&FAX: (0595) 63-0329

愛知県みよし市より区長研修で来訪

7月13日13時より赤目市民センターに愛知県みよし市の区長さん等21名の方が来られました。みよし市は、愛知県の中部・西三河地域に位置する市で、人口約6万2千人。名張市からは、地域経営室・赤目まちづくり委員会役員等が参加。

各まちづくりの説明と共に、地域活動・地域づくりに関する熱心な質疑応答や和やかな懇談があり、大変友好的で有意義な時間を過ごしました。またお土産に、亀本相談役が作った竹あかりをプレゼントして、大変喜ばれました。

後日、愛知県みよし市役所より、研修会についてお礼状を頂きました。

なおいただいた竹あかりは、赤目まちづくり委員会の紹介状と共に市役所玄関入口に展示して下さる事の連絡もいただきました。



市民大学講座開催

7月22日(土)市民大学講座「第三次天正伊賀の乱」を開催。今回は、伊賀中世城館調査会会長 松鹿昭二先生を迎えて、第二次天正伊賀の乱後、地元柏原城(瀧野城)は織田勢の支配下にあったが、本能寺で織田信長が自害したため、勢力を取り戻した伊賀勢が争奪戦を繰り広げる模様を解説。

また各地にあった城郭、地形、布陣等写真を交え紹介して頂きました。非常に地元にとっては、有意義なお話でした。なおads ニュースでも紹介されました。



学童保育「げんきっず」訪問(8月1日)

夏休みになり元気な子供たち放課後児童クラブ学童保育「げんきっず」の53名のみんなが市民センターに来てくれました。

ボランティアでマジック小林良行さんの、『おもしろく』『笑わせる』手品を見せて頂きました。暑さに負けずに、楽しい夏休みを過ごしてください。また8月のサンサンカレー、映画会にも元気な皆に会えることを楽しみにしています。



〈今年の蛍の写真〉

「源氏ボタル(6/10)、ヒメボタル(7/8)」観賞会とも、多くの参加を頂き無事に終了。吉岡正夫さんや多くの写真愛好家の方から写真を頂きましたので、ご紹介させていただきます。



各サークルのご紹介③

今回は、音楽活動をされているサークルさんのご紹介をさせていただきます。大正琴、民謡・尺八、コーラスバンド、カラオケ教室のグループ5組。(写真は2022年度分です。)

- ①大正琴赤目ひまわり 第1・3金曜日 14:00～16:00 開催
 - ②大正琴赤目白百合会 第1・3金曜日 9:30～11:30 開催
 - ③竹朋会 第2・4火曜日 14:30～16:30 開催(7～10月)
 - ④さくらどろっぶ 第2・4水・木曜日 14:00～16:00 開催
 - ⑤たんぽぽ 第1・3土曜日 9:00～11:00 開催
- 開催日に連絡の上、見学ください。 ☎63-0329 市民センター



詳細は、工芸室に掲示していますので、ご参照ください。

サンショウウオ・ナイトウォッチング開催

赤目まちづくり委員会環境部主催で、今回初めての「サンショウウオ・ナイトウォッチング」を開催します。

我が町・赤目に古代より生息する野生の「オオサンショウウオ」に会いに行きませんか。

※夜間の河川での観察になりますので、くれぐれも足元にはご注意ください。

赤目まちづくり委員会環境部 自然環境観察会シリーズ1

オオサンショウウオ・ナイトウォッチング

わがまち、滝川に生息する宝物、野生のオオサンショウウオを間近で観察できるかも...! 夏休みの自由研究に...大人も子どもも一緒に楽しめます

8/19(土) 18時20分開始、21時頃終了予定
雨天時は翌日に延期、増水時は中止

対象
小学4年生以上
※保護者同伴のこと

- 開催場所: 赤目市民センター、滝川(長坂地内)
- 講師: 環境省環境カウンセラー 川内 彬宏さん
- 参加費用: 無料
- 募集人数: 20名程度
- 開催内容: 市民センターでオオサンショウウオについて楽しく学んだ後、夜の滝川で野生のオオサンショウウオの保護活動を体験します。自然の面白さを体感し、地球環境を思う気持ちを大切にします。
- 持ち物: 濡れてもよい服、靴(長靴は×)、着替え、飲み物
※あれば胴長靴、防水ライト
- 留意事項: 対象年齢は小学校4年生以上、保護者の同伴が必要です。市民センターに集合・学習後、各自で滝川に移動していただくため、お車でお越しください。

申込方法・問い合わせ先

電話・FAX・メールいずれかの方法で、「住所」「お名前」「年齢」をご連絡ください
※いただいた情報は保険加入のため利用するものであり、それ以外には利用しません

電話・FAX: 0595-63-0329(9時～16時)

メール: akame-ko@emachi-nabari.jp

主催: 赤目まちづくり委員会 環境部 協力: 水資源機構 木津川ダム総合管理所、赤目自然学校

皆様の情報をお寄せください。

いただいた情報は、取材を進めて、記事やWebサイトなどで紹介させていただきます。(内容は、リライト・一部加筆訂正致します。)

赤目まちづくり委員会
赤目市民センター

ホームページ



赤目まちづくり委員会・市民センターの情報及びまちづくり通信がホームページでカラーでご覧いただけます。
※スマホ・携帯電話で左のQRコードを読み取って下さい。

ご参加をお待ちしています。

8月7日～9月3日までの予定

赤目町の皆さんへ

令和5年8月

赤目まちづくり委員会
健康福祉部

ELP 健康教室のご案内

“ あなたの身体 ^{からだ} ^{はか} 測ってみませんか ”

- 骨密度
- インボディ(体脂肪 etc.)
- 握力
- 腹筋
- 前屈

「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高めるために、健康教室を開催します。

加齢とともに体力の衰えと、栄養状態から筋力の低下を招くこともあり、外出が減るなどの結果、介護が必要になる場合もあります。健康的な毎日を過ごすためにも、体力を維持することが大切です。まずは、体力測定から…。

日時 8月16日(水) 午前10時～11時30分
場所 赤目市民センター 大会議室
担当 名張市健康・子育て支援室、赤目まちの保健室



※当日は、マスクの着用をお願いいたします。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または延期となる場合があります。
☆名張ケンコー!マイレージ対象イベントです。

月	火	水	木	金	土	日
8/7	8	9 ふれあいサロン	10	11 こども映画会①	12	13
14 星空観察会	15	16 ELP 健康教室	17 サンサンカレー	18	19	20
21 茶道体験	22 	23 忍たま広場 ふれあいサロン こども映画会②	24 市特定検診	25	26	27
28	29 2学期始業式	30 相楽出前健康教室	31	9/1	2	3

<お知らせ>

※8月5日(土)17時からの「夏まつり」は、コロナ以前同様に吹奏楽・生演奏・盆踊り、バザーなどを開催。ご参加をお待ちしています。

9月の行事予定

- ★9/13(水)ふれあいサロン
- ★9/27(水)忍たま広場・ふれあいサロン



今後の赤目まちづくり・市民センター行事の取組みについて

◎今後の催しは、コロナ以前の状態に戻し開催させて頂く予定をしています。ただし状況により規模の縮小などして開催しますので、ご了承下さい。なお熱中症、コロナ感染など体調管理には各自で十分気をつけてください。奮ってご自由に、ご参加ください。
・10月28日(土)～30日(月)開催予定の赤目市民センターまつりも、サークル発表・展示・出店(バザー)・講演など予定しています。
※皆様のご協力・参加をお待ちしております。連絡 63-0329 まで。

Vol.43 新・歴史散策紀行…「伊賀・赤目文化遺産」

荒木又右衛門と鍵屋の辻

荒木又右衛門は、1599年(慶長4年)～1638年(寛永15年)江戸初期の剣客。伊賀国荒木村出身で、剣を柳生十兵衛に学ぶ。仇討は1634年(寛永11年)義弟渡辺数馬を助け、伊賀上野の鍵屋の辻で弟源太夫の仇河合又五郎を討った実話。

曾我兄弟の仇討ちと赤穂浪士の討ち入りに並ぶ日本三大仇討ちの一つ「伊賀越仇討(鍵屋の辻の決闘)」で有名です。

又右衛門の本姓は服部氏で、伊賀国(三重県)服部郷荒木村生まれ。父の服部平左衛門は藤堂高虎に仕えて150石取りであったが、浪人してのち備前の池田忠雄に300石で仕えた。「伊賀越の仇討」は、講談などで「36人斬り」と脚色されているが、史実では河合側死者4人のうち、又右衛門が2人を斬った。1638年8月12日、数馬と共に鳥取藩に引きとられたが、16日目に40歳で没している。死因については毒殺など諸説ある。

1630年(寛永7年)7月11日、岡山藩主池田忠雄が寵愛する小姓の渡辺源太夫に藩士・河合又五郎が横恋慕して関係を迫るが、拒絶され又五郎は逆上して源太夫を殺害。又五郎は脱藩して江戸へ逐電、旗本の安藤次右衛門正珍にかくまわれた。激怒した忠雄は、幕府に又五郎の引渡しを要求するが、安藤次右衛門は旗本仲間と結託してこれを拒否し外様大名と旗本の面子をかけた争いに発展。1632年(寛永9年)、忠雄が痲瘡のため急死した。よほど無念だったのか死の間際に「読経よりも又五郎の首を墓前に供えよ」と、又五郎を討つように遺言を残した。源太夫の兄・渡辺数馬は仇討ちをせざるをえない立場に追い込まれた。

剣術が未熟な数馬は、姉婿の新陰流剣豪・郡山藩剣術指南役の

荒木又右衛門に助太刀を依頼。数馬と又右衛門は又五郎の行方を捜し回り、1634年11月に又五郎が奈良の旧郡山藩士の屋敷にいることを突き止める。又五郎は危険を察し、再び江戸へ逃れようと伊賀路を逃走、それを知り道中の鍵屋の辻で待ち伏せする。

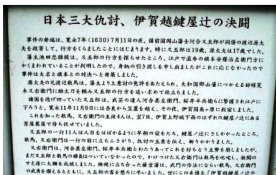
又五郎一行は、叔父で元郡山藩剣術指南役河合甚左衛門、妹婿で槍の名人の桜井半兵衛などが護衛に付き、総勢11人。待ち伏せ側は数馬と又右衛門それに門弟の岩本孫右衛門、河合武右衛門の4人だけ。11月7日早朝、鍵屋の辻で待ち伏せを知らない又五郎一行に数馬、又右衛門らが切り込み、決闘が始まる。孫右衛門と武右衛門が馬上の桜井半兵衛と槍持ちに斬りつけ、半兵衛に槍を渡さない様にした。又右衛門は馬上の河合甚左衛門の足を斬り、落馬したところを切り伏せた。次いで、孫右衛門と武右衛門が相手をしていた桜井半兵衛を打ち倒す。このとき武右衛門が斬られて命を落としている。

又五郎側の多くは戦意を喪失し、逃げてしまう。逃げ遅れた又五郎は数馬、又右衛門らに取り囲まれたが、剣術に慣れていない二人は、延々5時間もの斬り合いの末、やっと数馬が又五郎に傷を負わせたところで、又右衛門がとどめを刺した。見事本懐を遂げた数馬と又右衛門は世間の注目を集め、特に、実質仇討ちを主導した荒木又右衛門は賞賛を浴びた。

鍵屋の辻は、伊勢街道と奈良街道の分岐点「みぎいせみち ひだりなら道」と刻する1828年(文政11年)の道標があり、現在は「鍵屋の辻史跡公園」。園内には荒木又右衛門の遺品や錦絵などを展示した伊賀越資料館(休館中)や数馬茶屋(工事中)などがある。数馬茶屋は、1929年築の木造平屋の茶店。国文学者の羽仁新五が戦後まもなく文化活動の拠点とし、放送作家の永六輔、日本文学者のドナルド・キーンら多くの著名人が訪れた。



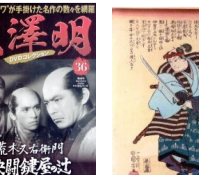
又右衛門生誕の碑



鍵屋の辻の決闘看板



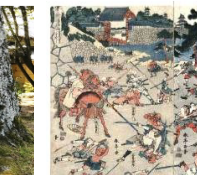
三船敏郎主演映画化



歌舞伎絵



史跡公園に



勝川春亭画「伊賀越道中双六」



数馬茶屋



鍵屋の辻の道標